

第27号
(7月号)
2015年
7月1日

七里ヶ丘子ども若者支援研究所
それが社会参加だ！

住所：鎌倉市七里ヶ浜 2-31-12
携帯：090-7212-4055
Email: qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp
編集長：新舛秀浩
発行責任者：滝田衛

リロード10周年記念に出席して

5月30日リロード10周年記念でリロード理事長の武藤啓司さん、理事の中西新太郎横浜市立大学名誉教授の講演会が行われた。

武藤さんは社会的排除の視点にたったひきこもりの支援を。居場所の確保の重要性を説いた。それはひきこもりに限らず様々な人々に当てはまり、例えば孤立した高齢者にも居場所が必要なのではないかと。ひきこもりを個人の問題と捉えず社会の問題とすることが重要である。



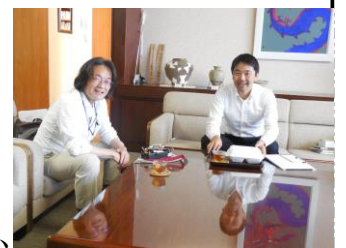
左・武藤氏、右・中西先生

中西先生のお話は居場所論を中心に貧困問題を交え、大学の現場からリアルな状況についてお話された。最近の学生は、自分自身が鬱なので今から薬を服用するため授業中に寝かせてほしいと申し出る。その鬱を大勢の前でいうことにためらいや躊躇がない。また貧困の問題では、中・高校生の中で「LINE」を使用して勉強を教えあっている人が増える一方で、経済的事情からインターネットにアクセスすることが難しく「LINE」を使用できない人が取り残される。さらに奨学金の返済の問題。大学院まで進学した学生の場合、奨学金による借金が一千万にもなり卒業後重くのしかかる。居場所論では、各々が寝ていても、話していても、何をしていても互いの信頼関係が安心につながるということが重要である。就活ではいわゆるブラック企業の問題で、大学4年生の10月から働かされ、入社前には心身ともに体調を崩し入社出来ないケースが珍しくないとのこと。これも社会で支援すべきであると中西先生は指摘した。おふた方の話しのキーワードは「社会」。個人で抱え込まず社会で支え合う、そのような社会構造になることを切に願う私であった。(新舛)



川辺悟史さん撮影。
在籍中の神奈川歯科大の「ジャカランダ」

コラム風 不登校について手元にある子どもと親の声をまとめているが、手にあまる作業。また子ども若者の理解や思春期子育ての講演会講師や、子ども若者との伴走も続けている。そこで不登校再考察へ研究者の著書を再読するも、根気がいる。一つは河合隼雄氏の著書「子どもと学校」岩波新書1992年。氏はスクールカウンセラー(SC)導入に貢献された、賛否は数多。“閉鎖的”な学校(教育の自由は根幹)にSCの新しい風を入(松尾崇鎌倉市長と昼食)れ民主教育を前進させと僕は思い、1990年代横須賀の教育行政でSCに関わった。学校を開き教員の仕事を開放した。今一つは阿部彩氏「子どもの貧困」岩波新書2008年の再読。時代は子どもの貧困に直面する。この2著は16年の時間差、しかし子ども理解と教育への期待、そして社会変革の点では貴重だ。子どもを取り囲む社会環境の悪化を確認し、確実に子どもが時代を開く主体者となる実感を得た。奮闘する松尾崇市長と子どもの環境改善の交流を頂いた。(滝田)



6月21日子ども若者応援団

「人生は楽しく！フラットな人間関係の構築を！」



応援団会議(小幡さん中座)

雨模様の21日元代表の小幡さんが駆けつけ応援団会議は始まりました。小幡さんは本会議での一括質問に更なる意欲を感じ、新舩は議会傍聴を楽しみ、高比良(母)さんは秀一さんと共に苦節9年間苦勞の末2曲目のオリジナル曲を完成。秀一さんは仕事仲間と駅で出合いを語る。高島さんは息子さんの仕事を通成長に喜びを、川辺順子さんは息子さんとの向き合い大きく気づき、「聞くという事は他人の心の疼きを聞く」との新聞を紹介。伊藤さんは自分で納得できる道を、涌井さん友人宮坂さん(初参加)は疾患からの脱却へ試行錯誤。

涌井さんは人生楽しく！をモットーにキャンプへバイクを走らせ、島根さんは息子さんの好き嫌いを許容しありのままの人生を支援し自立の道へ。滝田さんは相手をカテゴライズしてしまう癖からフラットな目線で相手を見る重要性を、蘇武さんは薬依存にならない生活をと近況報告。その後、今国会で議論されているフリースクールを義務教育として認める案を民間企業の営利主義にならないか、また現在の学校のコピーにならないか等について意見交換しました。

今後の予定は、小幡市議などをゲストに「不登校、フリースクールについての研修会」を8月に行います。また素晴らしいオリジナル曲を制作された高比良さんのピアノ演奏を、8月下旬もしくは9月上旬に行います。日程は次回お伝え致します。是非皆様いらしてくださいね。(新舩)

それぞれの風

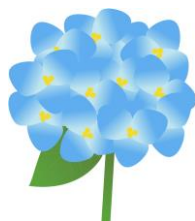
※今月は頂いたメールやお手紙を紹介します。ご容赦と感謝。(滝田)

- N子は、ここ2~3日は昼間に活動出来て満足していたのに、昨夜はお兄ちゃんと一晩中話して完徹。朝ご飯をたべてから寝てしまいました。お兄ちゃんは何とか(大学)登校しましたが…(><)困ったものです… by 母(翌日通級教室で会いました(笑) 不登校中学生、美・音・体に才能)
- あの日(訪問した滝田と)一緒に会話するとは思っていなかったのが、段々人に親しんでいきたくなったのかなと思いました。昼からはいっしょに食事に行きました。…(足腰が弱ってきた祖母の通院について)…翌朝、息子にできたら病院の入り口まで行ってくれるように頼んで出勤しました。…シャワーを浴びて着替えて、病院の中まで付き添ってくれたそうです。ずいぶん大人になったと思いました。…後略。 By 母(能力の高い大学生、休学中。中高不登校。死にたいは昔話?)
- 本人から聞いた当日(滝田訪問、本人不在)の行動です。家を出たのは(前夜)7時過ぎ、駅付近で靴・上着・リュック・帽子を買った(それを着て帰ってきました)。電車でYへ、ネットカフェで夜明かし、翌日は「歩いていた」と。夕方帰ってきました。by 母(母を助け家事を担う。訪問迷惑!)

編集後記・今号から会員川辺さんの写真を毎月掲載します。また神奈川県広報8月号に川辺さんの写真が掲載され、作品展もあるそうです。皆様楽しみにしてくださいね。

【ご参加下さい】
「研修会」は8月に延期になります。
定例応援団会議は横須賀市民活動サポートセンター午後2時です。

7月研究所日程(駐車場有)相談時間 10~16時 土日訪問はご相談



| | | | |
|--------|------|--------|-------|
| 2日(木) | 相談 | 20日(月) | 祝日 |
| 6日(月) | 予約済み | 23日(木) | 相談 |
| 9日(木) | 他事業 | 26日(日) | 応援団会議 |
| 13日(月) | 他事業 | 27日(月) | 相談 |
| 16日(木) | 相談 | 30日(木) | 相談 |